

## 防災マップ作製実践報告 第3学年

1. 教科 総合的な学習の時間

2. 単元名「地域安全マップをつくろう」

3. 単元の目標

子供が通学路等を点検して「犯罪が起りやすい場所」（だれもが「入りやすく」、だれからも「見えにくい」場所）を地図に表す作業を通じ、不審者等の「人」ではなく、犯罪が起りやすい「場所」に着目させる。

4. 防災教育との関わり

「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点を持ち、通学路や、普段通る場所を改めて点検することで、子供の危険予知能力を高め、安全に行動できるようにするとともに、安全安心な街とは何かを考える。

5. 単元指導計画

時	内容 ○目標	防災との関わり ●防災教育の目標
1	◇事前学習① ○「地域安全マップ」について知る。 ・ したら犯罪や事件に会わないように生活できるかを考える。 ・ 「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点を知る。	●危険な場所はどこか場所かをつかむ。 ・ 危険な「場所」は、見ただけで分かることを知る。 ※動画教材 「景色で学ぼう！ 新・地域安全マップづくりDVD」
2	◇事前学習② ○地域安全マップをつくる計画を立てる。 ・ フィールドワークを行うためのきまりを考え、計画を立てる。	●フィールドワークのために必要なことを確認し、準備をする。 ・ グループ編成をし、役割を分担する。 ・ コースを確認する。
3	◇フィールドワーク ○自分たちの地域について実際に歩いて調査を行い、必要な情報を集め、取捨選択して効果的に活用する。	●フィールドワークをする。 ・ 「入りやすいか」「見えやすいか」を基準に調査をする。 ・ 気付いたことをメモし、写真を撮影する。
4 5 6	◇地域安全マップの制作 ○フィールドワーク時の写真やメモを基に分類し、安全な場所、危険な場所とは何かを考える。 ・ 全体図のレイアウトを考える。 ・ 係ごとの作業内容を確認し、作業にとりかかる。	●分類するスキルを使って写真を分類する。 ・ 「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点で、写真を分類する。 ・ 「～だから見えにくい。」「～だから入りやすい。」など、具体的な言葉を使ってまとめる。 ・ フィールドワークで発見した危険箇所、安全箇所等の写真を地図に添付する。

		※特定の個人名が分かる表札や、車両のナンバープレート等は黒塗りするなどして見えないようにしておく。
7	◇地域安全マップの発表 ○作った地域安全マップを用いて、発表する。 また、学んだことをどのように生活に生かしたらいいかを考える。	●地域安全マップを作製して、地域の様子を発表する。 ・作製した地域安全マップをもとに、安全な街にするために自分にできることについてまとめる。 ・学習を振り返り、「安全のための注意事項」について知る。

## 6. 本時

(1) 目標 地域安全マップをもとに、地域の様子を発表しよう。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 ◇フィールドワークに行った時の、視点の確認をする。</p> <p>◇どのような場所が「安全」で、どのような場所が「危険」だったかを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、正門が閉まっているので、誰もが<u>入りやすく安全</u>です。</li> <li>・この公園には、ごみが落ちていなくて、きれいな花が咲いているため、住んでいる人が<u>地域や人に関心がある</u>ので安全だと思います。</li> <li>・日付が過ぎたポスターが貼ってあったり、破れたポスターが貼ってある掲示板は、<u>地域の関心がなく、人の目がない場所だから危険</u>です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点でフィールドワークに出かけたことを想起する。</li> <li>・「不審者がいたから、この場所は危険」などと、人ではなく「場所」に注目したことを確認する。</li> </ul>
<p>2 ◇班ごとに、地域安全マップをもとに調査結果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表、質問</li> </ul> <p>【質問】私はこう考えたけれど、どうして、Aの写像是「安全」ではなくて「危険」なのですか。</p> <p>【答え】なぜかというと…</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どの場所が危険で、どの場所が安全と判断したのか」その根拠を中心に発表する。</li> <li>・児童間で相互交流ができるよう、「感想カード」を配布する。</li> </ul>

<p>3 ◇感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には安全な場所と危険な場所があるので、安全な場所で遊ぶようにします。</li> <li>・友達の意見を聞いて、自分が見えやすいので安全だと思っていた場所でも見えにくく危ないこともあることを知りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「危険」と思われる場所で、必ずしも犯罪や事件が起きたり、「安全」と思われる場所では、絶対に犯罪や事件がおきないというわけではない、ということを確認する。</li> <li>・周りの状況を判断する力、自分で自分の身を守ることの大切さを改めて指導する。</li> </ul>
--	---

### (3) 評価

地域安全マップをもとに、「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点を持ち、具体的に地域の危険箇所や安全箇所を発表することができた。

## 8. 授業の実際



### 【フィールドワーク】

保護者の方に見守りをお願いして、通学など学校の近くを3コースに分かれて、フィールドワークを行った。「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という視点を持ち、写真を撮ったり、メモを取ったりして活動した。



### 【グループ発表】

班ごとに、作成した地域安全マップを黒板に掲示し、調査結果を発表する。

調査して初めて知ったこと、考えたことなど感想を発表するとともに、作成した過程において苦労した点や反省点等についても発表する。

## 7. 成果

「入りやすい、入りにくい」「見えにくい、見えやすい」という4つの視点を理解することで、通学路や、普段通る場所だけでなく、街のどのような場所が安全であるか理解を深めることができた。また、安全と考えられる場所には地域の目が行き届いていることから、地域の方々にも感謝の気持ちをもつことができた。危険予知能力を高め、安全に行動できるようにするとともに、安全安心な街とは何かを考えるきっかけになった。